

秋の食欲川柳~!!

気をつけましょうね!

- 天高く 馬でもないのに 肥ゆる妻
- 回る寿司 カロリー忘れ 皿重ね
- 通販で 買ったマシンも お蔵入り
- 明日から 明日からって いつなんだ?
- バイキング ゴムのスカート はいていく
- ひとつだけ あとひとつだけと 平らげる
- 店員に 大きいコーナー 勧められ
- 出会う人 オメデタデスカ? と何故か聞く



北京五輪も終わり、暑い暑い夏も終わろうとしています。そろそろ秋の行楽シーズンですね。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋と一年で一番過ごしやすい季節ですね。

さて、私編集長の森本は、お盆期間中に高知市にある、フリタニア乗馬倶楽部へ行きまして。その倶楽部は、高知市東部を一面に見渡せる小阪峠という峠を越えた山の上にあるのですが、もう、たくさん葉が落ちていました。オーナーの話によると「毎年秋に咲くユリが、今年は一ヶ月も早く咲いています」と仰って、すっかり秋色でした。今年は冬の寒さも厳しいかも申しませんがね。ブルブルッ!

9月10月11月は、3連休が続きますが、この乗馬クラブ、ピシターでも予約さえすれば初心者でも感じよく指導してくれますし、14頭いる馬にもさわり放題。徳島から2時間半あれば行き着きますので、馬がお好きな方には、いやされるスポットです。

9月 長月



ロータス林のわくわく通信



20年 8月30日発行

タモリさんの 赤塚不二夫さんへの弔辞



泣けました……。そんなにたくさんの弔辞を聞いたわけではありませんが、弔事でこれだけ心を打たれたのはこれが初めて。よほど親しかったんですね。一部ですがご紹介します。

「……あなたの考えは全ての出来事、存在をあるがままに前向きに肯定し、受け入れることです。それによって人は重苦しい陰の世界から解放され、軽やかになり、時間は前後関係を解き放たれて、その時その場が異様に明るく感じられます。この考えをあなたは見事に一言で言い表しています。すなわち『これでいいのだ』と…」

バカボンのパパの「これでいいのだ」という言葉の意味が、こんなに深かったなんて知らなかった。

戦後の元気な日本を支えてきた人が、また一人亡くなりました。合掌



がけっぶち猫



がけっぶち猫、助かったけど…母さんにしかられた

2008年6月23日の朝日新聞の記事から梅雨空が続く大分市で6月22日、川のコンクリート護岸に必死にしがみついていたミヤマミヤアと泣き声をあげる子猫を、市民が見つけたすぐに消防署へ。消防隊員4人が駆けつけて棒を使って、子猫を護岸から離してタモ網でキャッチ！猫ちゃん、よかったね〜

その後、「この子猫でしようっ」と消防隊員が困っていたら、近くの茂みからひょっこり母猫が現れたんですね。さっと、自分じゃ助けられないから、祈るように見てたんですね。消防隊員が子猫を放すと、子猫は母親に駆け寄って甘えるように、じゃれ付きました。そしてら母親が拳骨でコソソ!



「落ちたら危ないでしょう」とご立腹の様子。叱られた子猫は、トボトボと母親について帰ったという、めっちゃ心を和ませてくれる記事でした。

なっちゃんのオススメDVD

クール・ランニング

久しぶりにスカッ!としました



北京五輪、陸上競技男子100m、200mを駆け抜けたジャマイカのボルト選手は素晴らしかったですね。さて、その話題となっている国、ジャマイカが冬季五輪ボブスレー競技に出場するという実話に基づく物語。

五輪出場を目指しながら予選でこけてしまって敗退した陸上選手が、どうしても五輪の夢が捨てきれず、ボブスレーチームを結成し、五輪開催地カルガリーを目指して猛特訓を開始します。

ところが、国内で資金集めをするも政治家や企業家に大笑いされ「ジャマイカを世界中の笑い者にするつもりか」などと罵られながらも、常夏のレゲーの国で、トロッコを改造したソリで冬のスポーツを練習する大真面目な彼らの姿に大爆笑!!

ラストは、ボロボロボロッ〜と大泣きするエンディング。

ここの所、ポニョを観て、ハプニングを観てイマイチで、プスプとストレスがくすぶり続けていたのに、拍手を送らずにはいられないほど、スカッと爽快な素晴らしい作品でした! 子供が観れば夢を持ち、大人が観れば元気が出る、やっぱりさすがディズニーです。ぜひ、オススメします。

保険担当・山端から 「自転車事故の悲劇」



自転車は、免許が要らない最も身近な乗り物ですが、歩行者に衝突すれば相手を死亡させてしまうこともあります。

去る8月2日、東京都の環状7号の交差点で自転車同士が衝突し、58歳の女性がお亡くなりになりました。

警視庁幹部によると、被害者が横断歩道を渡ろうとしていたところ、車道を走ってきた私立大1年生の男子学生が突っ込んできて衝突、被害者の方は道路に放り出された際、頭を強く打ったとの事。車道の信号は赤で、時速30kmで信号を無視したとみて、重過失致死などの疑いで事情を聞かれています。自転車のように損害賠償責任保険に加入しない自転車が必要となります。昨今のガソリン高や、短時間駐車禁止などの影響で、自転車人口が増加、自転車事故も増加しています。

万一の事故に備えて、未加入の方は自転車総合保険は如何でしょうか? ぜひオススメします。

営業三原の「あなた誰?」



最近駐車違反取締りが厳しいので、我が社では、お客様の鍵をお預かりする時、書類をお渡しする時などは、ふたり一組で行くのですが、つい最近のある日のこと。

あるお客様のところに鍵を預かりに行った時の話です。そのお客様の事務所には、リース担当の石井が参りまして、僕は車の中で待機していました。ボタン!とドアが開いて全く見ず知らずの方が助手席に座り込んできました?????目が点になりましたよ。「あの、どなた様でしょうか?」。聞かれてむこうもびっくりしたらしく、「あっ?あれ??すみません!!」。2台後ろの自分の車と間違えたらしい。もう、びっくりしたなあ。いきなりだもんなあ。こんな時、あなたならどうしますか?

